



平成 26 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ン ゲ ッ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 安 田 正 介
(コード番号 8130 東証・名証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 経 理 部 長 上 原 健
(TEL. 052-564-3331)
社 長 室 長 柴 田 和 彦
(TEL. 052-564-3270)

中期経営計画（2014-2016）Next Stage Plan Gにおける 資本政策の決定に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 11 月 7 日開催の臨時取締役会において、本年 6 月に発表した中期経営計画（2014-2016）Next Stage Plan G に基づき、資本政策を下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 背 景

当社はこれまで、継続的な企業価値の向上が株主への利益貢献の基本であるとの認識のもと、経営基盤の強化を図りながら安定的な配当を継続的に実施することを基本方針としてまいりました。過去 5 年間合計の配当性向は 70% を超える実績となっております。

一方で、当社は、売上高、収益性などを重視し、バランスシートについては安全性を優先した経営を行ってまいりました。しかしながら、昨今の国内資本市場の流れを鑑み、今後は安全性と収益の拡大に加え、バランスシートの効率、資本コストを意識した経営への転換が必要と認識し、本年 6 月に発表した中期経営計画では資本政策の見直しを行うことを公表しております。また次期中期経営計画の最終年度（2020 年 3 月期）には、「ROE（株主資本利益率）」8～10%の達成を目標とすることを発表いたしました。

2. 基本方針

中期経営計画（2014-2016）Next Stage Plan G に基づき、今後下記 3 項目を資本政策の基本方針として推進してまいります。

- a. 資本コストを上回る ROE の早期実現と、中長期的にはより高い ROE 水準(8～10%)の達成を目指す
- b. 安全性と成長の為の資金は確保しつつ、運転資金等の効率化を実現し、資本効率の向上を計る。
- c. 中長期的に持続可能な株主還元策の拡充を行う。

3. 当面の株主還元について

上記基本方針に基づき、中期経営計画（2014-2016）Next Stage Plan G 期間中の株主還元を以下のとおりといたします。

- a. 2014 年度より 2016 年度迄の 3 年間の連結総還元性向を平均 100%以上とする。
- b. 今後の市場環境を鑑みつつ、平成 26 年度下期より最短 3 年間、最長 5 年間で自己資本金額を平成 26 年 3 月末比 100 億円～200 億円の圧縮を目指す。
- c. 上記 b を実行する上では中長期的に株主に対するリターンが向上するよう機動的に自己株式の取得、増配を検討・実行する。

4. 上記当面の株主還元の第一弾として、本日開催の臨時取締役会において、自己株式の取得に係る事項を決議いたしました。その詳細に関しましては本日公表の「自己株式取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上